日立工機

日立コードレス振動ドライバドリル

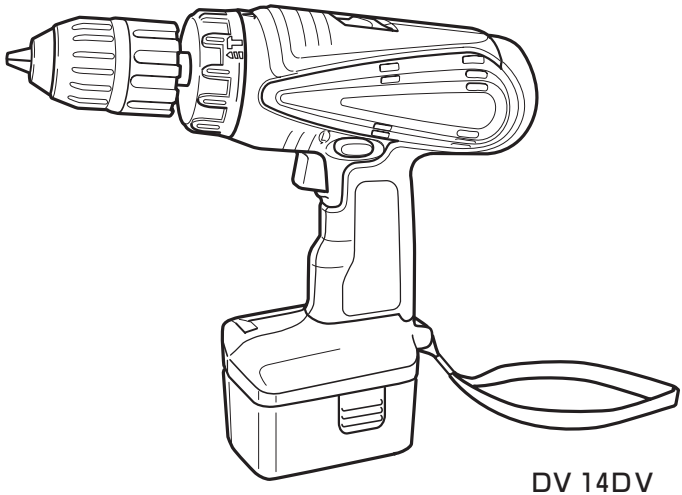
無段変速

10㎜ **DV 12DV**

14㎜ **DV 14DV**

取扱説明書

このたびは日立コードレス振動ドライバドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



DV 14DV

目　　次

ページ

コードレス工具の安全上のご注意 …… 2
コードレス振動ドライバドリルの使用上のご注意 …… 6
各部の名称 …… 7
仕　　様 …… 9
標準付属品 …… 11
別売部品 …… 13
用　　途 …… 14
蓄電池の取りはずし方・取付け方 …… 15
充電方法 …… 16
フックの使用方法 …… 20
ご使用前に …… 21
使　い　方 …… 22
使用範囲と注意事項について …… 27
締付け力の選定 …… 28
保守・点検 …… 29
ご修理のときは …… 30
全国営業拠点 …… 裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警 告　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注 意　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注　：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

コードレス工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
  指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
  異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0 ˚C 未満または温度が 40 ˚C を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。
  破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などで覆わないでください。
  破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
  感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器のさし込みプラグに触れないでください。
  感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体、充電器、蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
  爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⚠ 警　告

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
  固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを、使用してください。
  事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注　意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
  けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
  けがの原因になります。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が 50 °C以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
  蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注　意

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行なう作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。
  感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
  転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⚠ 注　意

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
  付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。
  軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。
  非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。
  事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- さし込みプラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
  感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。
  異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。
  発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この機体は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

コードレス振動ドライバドリルの使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス振動ドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。

③ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

⚠ 注　意

① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

③ 穴あけ直後の錐や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。

④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。

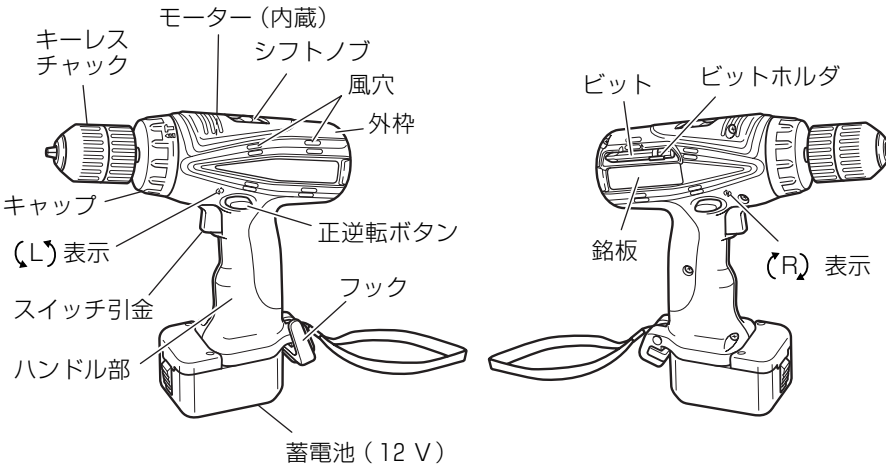
⑤ 細径の錐は折れやすいので注意してください。
飛散して、けがの原因になります。

⑥ 工具本体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。

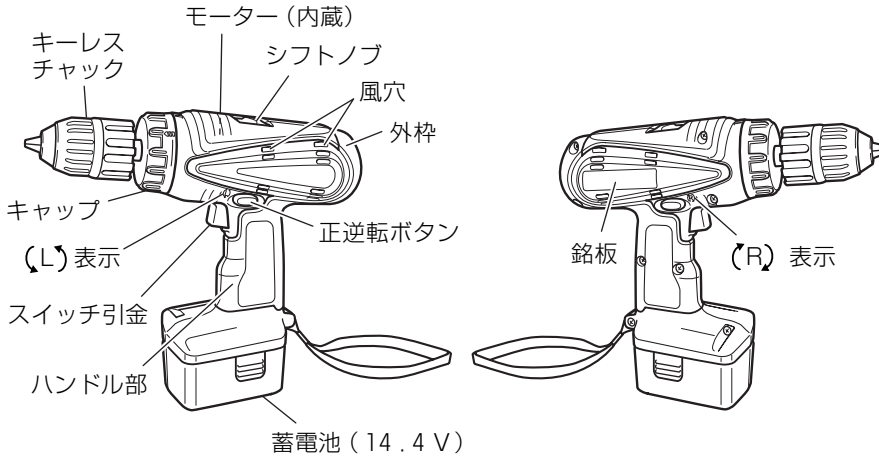
各部の名称

1．工具本体

(1) DV 12DVの場合

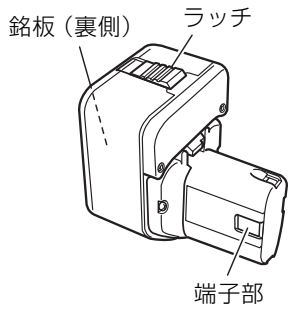


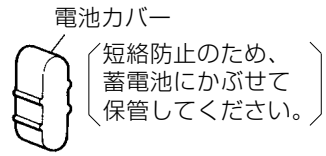
(2) DV 14DVの場合



○蓄電池12V（EB 1230HL）

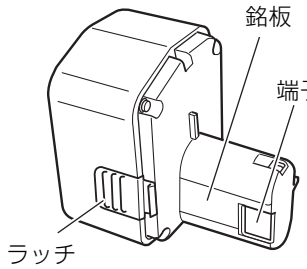
※蓄電池別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。

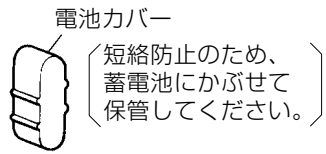




○蓄電池14.4V（EB 1430H）

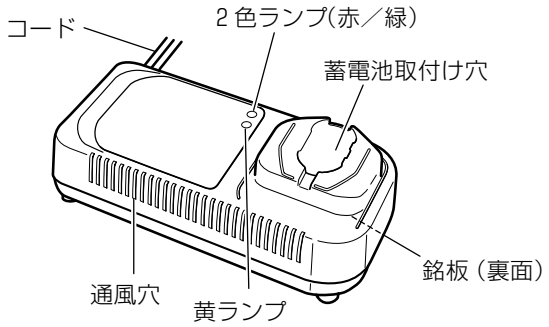
※蓄電池別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。





2．充　電　器（UC 14YH）

※充電器別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。



仕　　様

1．工具本体仕様

		DV 12DV	DV 14DV
能　　力	穴あけ	石材（錐径）：ﾓﾙﾀﾙ･ﾚﾝｶﾞ 10 mm ｺﾝｸﾘｰﾄ 6．5 mm 金属（錐径）：鋼板 10 mm アルミ板 10 mm 木材（錐径）：18 mm	石材（錐径）：ﾓﾙﾀﾙ･ﾚﾝｶﾞ 14 mm ｺﾝｸﾘｰﾄ 10 mm 金属（錐径）：鋼板 13 mm アルミ板 13 mm 木材（錐径）：36 mm
	ねじ締め	小ねじ：6 mm 木ねじ：呼び径 5．1 mm ×長さ32 mm	小ねじ：6 mm 木ねじ：呼び径 8 mm ×長さ50 mm
モ ー タ ー		直流モーター	
無負荷回転数 （気温 20 C° 満充電時）		低速　0 ～ 350 min^{-1} {0 ～ 350 回／分}	低速　0 ～ 350 min^{-1} {0 ～ 330 回／分}
		高速　0 ～ 1250 min^{-1} {0 ～ 1250 回／分}	高速　0 ～ 1200 min^{-1} {0 ～ 1200 回／分}
無負荷打撃数 （気温 20 C° 満充電時）		低速　0 ～ 5250 min^{-1} {0 ～ 5250 回／分}	低速　0 ～ 5250 min^{-1} {0 ～ 5250 回／分}
		高速　0 ～ 18750 min^{-1} {0 ～ 18750 回／分}	高速　0 ～ 18000 min^{-1} {0 ～ 18000 回／分}
ｷｰﾚｽﾁｬｯｸ容量		最大把握径　10 mm	最大把握径　13 mm
蓄　電　池		円筒密閉形ニッケル水素電池	
		電圧　12 V	電圧　14．4 V
質　　量		1．9 kg（EB1230HL 装着時）	2．1 kg（EB 1430H装着時）

2．充電器仕様（UC14YH）

入力電源	単相交流　50／60Hz 共用 電　　圧　100 V
充電時間 （気温20℃時）	EB 1230HL、EB 1430H…約27分　（詳しくは、18ページをご参照ください。）
充電電圧	7.2－9.6－12－14.4 V
充電電流	9 A
コード	2心ビニールコード
質量	1.0 kg
使用温度範囲	0℃～40℃

3．蓄電池仕様（別売部品を含む）

(1) DV 12DVの場合（12 V蓄電池）

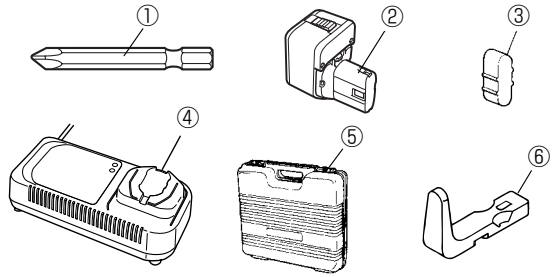
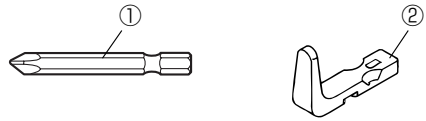
	EB 1230HL	EB 1230H	EB 1220HS	EB 1220BL	EB 12B	EB 12M	EB 12S
容量	3.0 Ah	3.0 Ah	2.0 Ah	2.0 Ah	2.0 Ah	2.0 Ah	1.2 Ah
残量表示ランプ	なし	なし	なし	なし	なし	付き	なし

(2) DV 14DVの場合（14.4 V蓄電池）

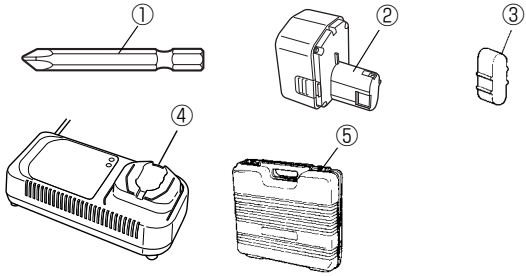
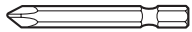
	EB 1430H	EB 14B
容量	3.0 Ah	2.0 Ah
残量表示ランプ	なし	なし

標準付属品

1．DV 12DV

DV12DV（2HLCK） 予備電池・充電器・ ケース付	 ① プラスドライバビット〔コードNo. 318236〕 〔No. 2、長さ 55 mm （本体のビットホルダに収納）〕・・・・・・・・・・1本 ② 蓄電池 〔EB 1230H L（本体装着、予備電池）〕・・・2個 ③ 電池カバー（取りはずした蓄電池用、予備電池装着）・・・・2個 ④ 充電器（UC 14YH）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1台 ⑤ プラスチックケース・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個 ⑥ フック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個
DV12DV（NN） 蓄電池・充電器・ ケース別売	 ① プラスドライバビット〔コードNo. 318236〕 〔No. 2、長さ 55 mm （本体のビットホルダに収納）〕・・・・・・・・・・1本 ② フック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個

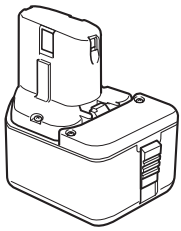
2．DV 14DV

DV14DV（2HCK） 予備電池・充電器・ケース付	 ① プラスドライバビット〔コードNo. 318236〕 〔No. 2、長さ 55 mm〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本 ② 蓄電池 〔EB 1430H（本体装着、予備電池）〕・・・・ 2 個 ③ 電池カバー（取りはずした蓄電池用、予備電池装着）・・・・ 2 個 ④ 充電器（UC 14YH）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 台 ⑤ プラスチックケース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 個
DV14DV（NN） 蓄電池・充電器・ケース別売	 ○ プラスドライバビット〔コードNo. 318236〕 〔No. 2、長さ 55 mm〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本

別売部品 ..... （別売部品は生産を打ち切る場合があります）

1．蓄　電　池

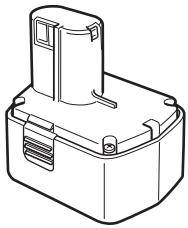
(1) 12 V蓄電池（DV 12DV用）



○ 予備の蓄電池としてご用意されると便利です。

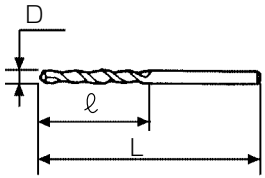
形　　名	EB1230HL	EB1220HS	EB1220BL	—
コードNo.	00319730	00319731	00319368	—
形　　名	EB1230H	EB12B	EB12M	EB12S
コードNo.	00318075	00310062	00310065	00306096

(2) 14.4 V蓄電池（DV 14DV用）



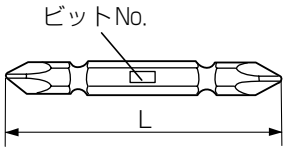
形　　名	EB1430H	EB14B
コードNo.	00318076	00315131

2．石工錐



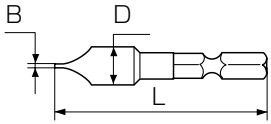
	D(mm)	L(mm)	ℓ(mm)	コードNo.
DV 12DV／DV 14DV	6.5	100	65	931851
	8.0	100	65	931852
	9.5	120	80	931853
	10.0	120	80	931854
DV 14DV	12.0	160	110	971704
	13.0	160	110	931855

3．プラスドライバビット



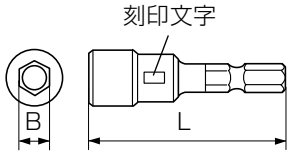
ビットNo.	L(mm)	コードNo.
No. 2	45	983005
	65	983006
	110	983007
	150	983008
No. 3	45	983010
	65	983011
	110	983012
	150	983013

4．ドライバビット



品　名	B(mm)	D(mm)	L(mm)	コードNo.
ドライバビット4mm	0.8	7	50	955658
			70	955659
ドライバビット6mm	1	9	50	955673
			70	955674

5．ヘグザゴンソケット



品　名	刻印文字	L(mm)	B(mm)	コードNo.
4mmヘグザゴンソケット	7	55	7	955676
5mmヘグザゴンソケット	8	55	8	955677
6mmヘグザゴンソケット	10	55	10	955678

用　途

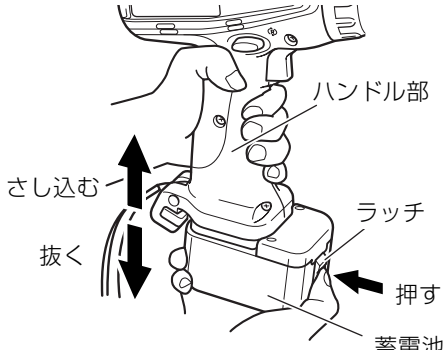
○回転と同時に打撃振動により
　コンクリート・モルタル・レンガ・ブロックなどの穴あけ

○回転のみにより
　○小ねじ、木ねじ、タッピンねじなどの締付け、ゆるめ
　　〔使用例〕アルミサッシ枠の取付け、カーテンレールの取付け、コンセントやスイッチボックスの取付け、その他日曜大工における木ねじ締め
　○各種金属の穴あけ（鉄工錐をご使用ください。）
　○各種木材の穴あけ（木工錐をご使用ください。木ねじの下穴や10㎜より小さい穴は鉄工錐をご使用ください。）

蓄電池の取りはずし方・取付け方

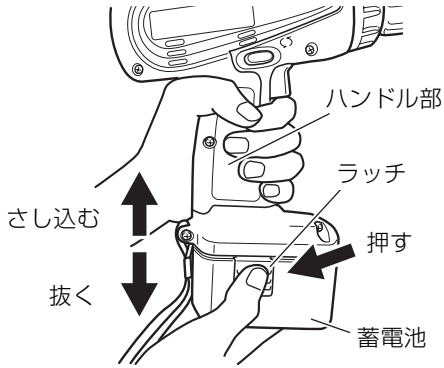
⚠ 警　告
• 万一の事故を防止するため、必ずスイッチが切れていることを確かめてください。

1．蓄電池の取りはずし方



（DV 12DV）

工具本体をしっかり支え、蓄電池前部または側面のラッチを押しながら抜くと、取りはずせます。



（DV 14DV）

2．蓄電池の取付け方

上図を参考に蓄電池の取付け方向に注意し、蓄電池をさし込みます。

充 電 方 法

⚠ 警　告

• 充電器は、必ず定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。また、昇圧器などのトランス類も使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

⚠ 注　意

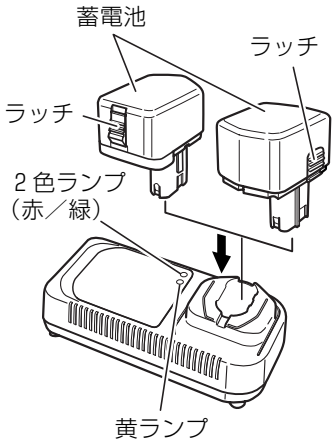
• さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、さし込みプラグやコードに損傷がないことを確認してください。損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

1．充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込む

充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込みますと 2 色ランプ（赤／緑）が赤の点滅を繰り返します。（周期 1 秒）

注 **• さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。**
そのまま使用すると、火災の恐れがあります。
• さし込みプラグをさし込んでもランプが点灯しないときは、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

2．蓄電池を充電器に取付ける



蓄電池を左図に示す向きで、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込みます。逆向きにさし込むと充電しません。

蓄電池を充電器に取付けますと充電を開始し、2 色ランプ（赤／緑）が赤に連続点灯します。

注 **• 充電するときは、蓄電池の向きを確認してからさし込んでください。**
逆向きにさし込むと、充電できないばかりでなくヒューズが切れたり、充電端子が変形して充電器故障の原因になります。
• 蓄電池をさし込んでも、2 色ランプ（赤／緑）が赤に連続点灯しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、蓄電池の取付けが確実かどうか、確かめてください。

3．充電する

(1) ランプの表示およびブザー音について

充電中は 2 色ランプ（赤／緑）が赤に連続点灯します。充電が完了すると 2 色ランプ（赤／緑）が緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と約 6 秒鳴ります。

充電器または蓄電池に異常があるときは、黄ランプが速い点滅（周期 0．2 秒）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 5 秒鳴ります。

ランプの表示

2 色ランプ（赤／緑）	赤点滅	0．5秒点灯／0．5秒消灯	充 電 前	
	赤点灯	連 続 点 灯	充 電 中	
	緑点灯	連 続 点 灯	完了→電池活性化(トリクル充電)中	
	緑点滅	0．5秒点灯／0．5秒消灯	電池活性化完 了	
黄ランプ	点 滅	0．5秒点灯／0．5秒消灯	高温待機	蓄電池の温度が高くて充電できない
	点 灯	連 続 点 灯	低 温 時充 電 中	蓄電池の温度が低いため保護充電している
	速い点滅	0．1秒点灯／0．1秒消灯	充電不可	充電器または蓄電池に異常あり

2 色ランプが緑に点灯すると、充電が完了ですので、蓄電池を充電器から抜いてください。

新品または長期間使用しなかった蓄電池の場合

注

- **新品または長期間使用しなかった蓄電池の場合は、電池活性化が必要ですので 19 ページの「6．蓄電池の活性化（トリクル充電）について」を参照してください。**
- **充電中に 2 色ランプと黄色ランプの両方が消灯したときは、修理に出される前に、さし込みプラグを電源コンセントから抜き 1 ～ 2 分経ってから、別の蓄電池をさし込んでみてください。正常に充電できる場合は蓄電池の異常が考えられます。**

(2) 蓄電池の温度について

充電可能な蓄電池の温度を下表に示します。熱くなった蓄電池は少し冷めてから充電を開始します。

充電可能な蓄電池の温度

蓄 電 池	充電可能な蓄電池の温度	高 温 蓄 電 池
EB12S、EB12B EB12M、EB1220BL EB14B	− 5 ℃～ 60 ℃	黄ランプが点滅する。 蓄電池の温度が 60 ℃まで下がると黄ランプが消灯し、充電を開始する。
EB1230H、EB1230HL EB1220HS EB1430H	0 ℃～ 45 ℃	黄色ランプが点滅する。 蓄電池の温度が 45 ℃まで下がると黄ランプが消灯し、充電を開始する。

注
- **蓄電池を直射日光の当たる所に長時間放置したり、使用した直後など蓄電池が多少熱をもっている場合に、すぐ充電すると充電器の2色ランプ（赤／緑）が赤に連続点灯しないことがあります。**
  また、2色ランプ（赤／緑）が赤に連続点灯し、充電を開始しても充電完了前に黄ランプが速い点滅（周期0.2秒）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約5秒鳴ることがあります。
  このようなときは、充電できないので、少し時間をおいて、蓄電池が冷えてから充電してください。
- **ニッケル水素電池は、使用直後など40℃を超えているときに充電すると満充電にならないことがあります。**
- **黄ランプが速い点滅（周期0.2秒）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約5秒鳴るときは、蓄電池の取付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。**
  異物が入っていたときは取り除いてください。異物が入っていないときは、充電器または蓄電池に異常があると考えられるので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

(3) 充電時間について

蓄電池の充電時間は次のようになります。

充電時間（気温20℃）

蓄電池 ＼ 充電器	UC 14YH
EB12S	約9分
EB12B、EB12M、EB1220BL、EB14B	約14分
EB1220HS	約18分
EB1230H、EB1230HL、EB1430H	約27分

下表のようなときは、充電器および蓄電池を保護するため、充電時間が長くかかることがあります。特にニッケル水素電池の充電時間は蓄電池の温度が30℃を超えるときは長くなります。

充電時間が長くかかる場合	充電時間
＊新品の蓄電池 ＊長期間保管しておいた蓄電池 温度0℃未満の冷えた蓄電池 寿命に近い蓄電池 充電器または蓄電池が高温の場合	
EB12S	約11～ 80分
EB12B、EB12M、EB1220BL、EB14B	約18～130分
EB1220HS	約25～130分
EB1230H、EB1230HL、EB1430H	約30～200分

＊印の蓄電池は一時的な現象であり、室温で2～3回充放電を繰り返すと蓄電池内部の化学物質が活性化し、正常な充電時間に戻ります。

注 • **充電の途中で一度抜き取った蓄電池を再び充電させるときは、抜き取ってから 3 秒以上待ってさし込んでください。**
これは充電器内のマイクロコンピュータが、蓄電池を抜き取ったことの確認に 3 秒程度の時間が必要なためです。時間が短すぎると充電しないことがあります。
• **一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。**
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

4．充電器のさし込みプラグを電源コンセントから抜く

コードを引っ張らず、さし込みプラグを持って抜きます。

5．蓄電池を充電器から抜く

充電器を手で支え、蓄電池を充電器より抜き取ります。
これで充電完了です。

注 • **使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。**

6．蓄電池の活性化（トリクル充電）について

新品または長期間使用しなかった蓄電池は、内部の化学物質が不活性（ねぼけ）になっているため、満充電にならないことがあります。このようなときは、充電完了後も約 8 ～ 12 時間充電を継続すると、自動的に蓄電池が活性化されます。

蓄電池の活性化中（約 12 時間）は 2 色ランプが緑色に点灯したままになります。電池活性化が終了すると 2 色ランプが緑色の点滅になります。

7．蓄電池を長持ちさせるコツ

(1) 蓄電池が空（から）になる前に充電する

工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

(2) 高温時の充電は避ける

工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。

すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

注 • **正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつきたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。**
寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
• **使用不能の蓄電池は廃棄せずに、最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。**

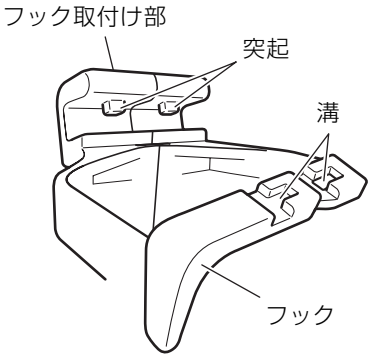
フックの使用方法　（DV 12DVのみ）

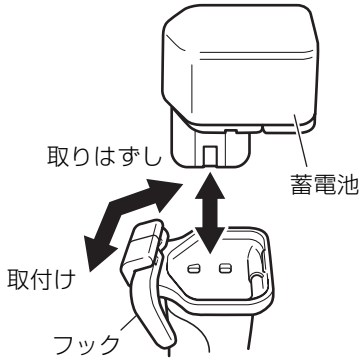
⚠ 注　意
• **フックを腰ベルトに掛けて工具本体を運ぶときは、ドライバビット以外は取付けないでください。** 錐などの先端がとがったものを取付けたまま腰ベルトに掛けると、けがの原因になります。 • **フックを使用する際は、必ず蓄電池を取付けて使用してください。** 蓄電池をはずした状態でフックを使用すると、けがの原因になります。

フックはハンドルの左右に取付け可能です。

○フックの取付け方・取りはずし方

⚠ 注　意
• **フックはしっかりと取付けてください。** フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。





1．フックの取付け方

(1) まず、工具本体から蓄電池を取りはずします。

(2) 本体外枠にあるフック取付け部の2ヶ所の突起とフックの2ヶ所の溝を合わせて、左下図のようにスライドさせてしっかりと取付けてください。（フックは左右どちら側にも取付け可能です。）

(3) 最後に蓄電池を取付けてください。

2．フックの取りはずし方

フックの取付け方と逆の手順で取りはずしてください。

ご使用前に

1．作業環境の整備・確認

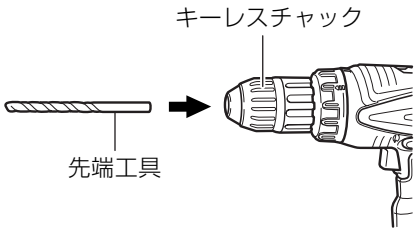
作業をする場所が 2 ページの「コードレス工具の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

2．蓄電池の取付けの確認

⚠ 注　意
• 蓄電池は確実に取付けてください。 確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

3．先端工具の取付け・取りはずし

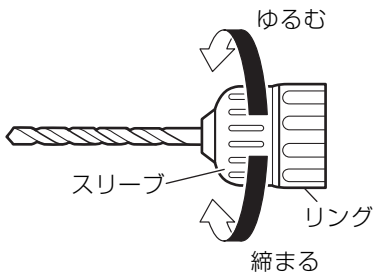
⚠ 注　意
• 先端工具の取付けや取りはずしの際、手など身体を傷つけないように十分注意してください。



(1) 取付け方

ドライバビットなどの先端工具をキーレスチャックに挿入後、リングをしっかり握り、スリーブを右方向（先端工具側から見て時計回り）に締めてください。

もし、作業中にゆるんだときは、さらに強く締めてください。スリーブを強く締めるほど把握力が大きくなります。



(2) 取りはずし方

リングをしっかり握り、スリーブを左方向（先端工具側から見て反時計回り）にゆるめ、取りはずします。

注 **• DV 12DVでは、スリーブの締付けやゆるめの際に「ゴロゴロ」という感触がありますが、これはゆるみ止め機構が働いているためで、故障ではありません。**

○スリーブがゆるまなくなった場合のゆるめ方

① 下記の方法で、ドライバビットや木工錐などが回転しないように固定します。

○ ドライバビットなどの固定例…ドライバビットなどをねじ頭に強く押しつけ固定する。

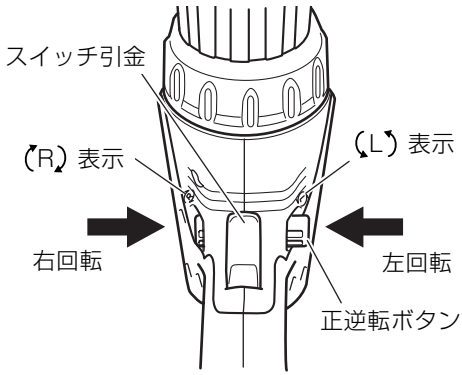
○ 木工錐などの固定例……木片に木工錐などを強く押しつけ固定する。

② キャップの位置を「1～11」にしてスイッチを入れ、モーターを回転させます。

③ スリーブを左方向に回して、ゆるめます。

使　い　方

1．回転方向を確かめる



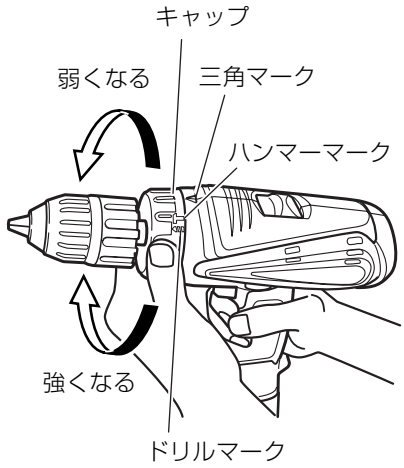
○ スイッチ部の正逆転ボタンを(R)表示側から押すと後側から見て右へ回り、(L)表示側から押すと左へ回ります。
（(R)(L)は外枠に表示してあります。）（左図参照）

○ スイッチ引金の引込み量により回転数が変わります。ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチ引金を少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。
また、スイッチ引金をはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

注 • 運転中、正逆転ボタンの切替えはできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。

2．キャップの位置を確かめる

この工具本体は、キャップ位置の調整で締付け力が変えられます。

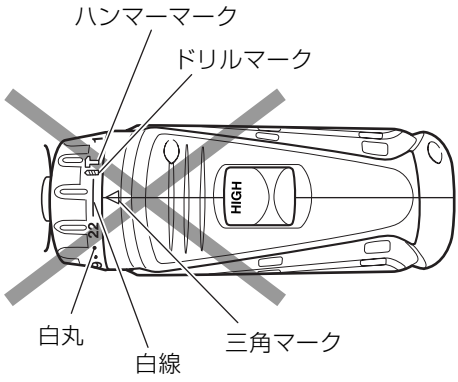


(1) ドライバとしてご使用の場合は、キャップの数字「1、3、5、…、22」または点印を外枠の三角マークに合わせてください。
　キャップの数字が大きくなると締付けトルクが大きくなります。最適な位置でご使用ください。

(2) ドリルとしてご使用の場合は、キャップのドリルマーク「 」を外枠の三角マークに合わせてください。

(3) 振動ドリル（回転＋打撃）としてご使用の場合は、キャップのハンマーマーク「 」を外枠の三角マークに合わせてください。

注
- **キャップの数字「1、3、5、…、22」と白丸の中間、またはドリルマーク「 」とハンマーマーク「 」の中間では固定できません。**
- **「22」とドリルマーク「 」の中間の白線の部分では使用しないでください（下図）。**
  故障の原因になります。
- **ねじの締付け・ゆるめや、金属・木材の穴あけにはハンマーマーク「 」（回転＋打撃）で使用しないでください。**
  能率が上がらないばかりでなくねじや錐をいためる原因になります。



3．締付け力の調整

(1) 締付け力について

締付け力は、ねじ径に応じた強さに調整してください。

強すぎるとねじが切れたり、ねじ頭を傷めるので締付けるねじに合わせて締付け力を調整してください。（28 ページの表参照）

(2) 締付け力の表示について

締付け力はねじの種類、締付け材料などにより異なります。この工具本体は、キャップの数字「1 、 3 、 5 、…、 22 」と点印で締付け力の目安を示しています。締付け力は 1 の位置が最も弱く、数字が大きくなると段々強くなります。（23 ページの上図参照）

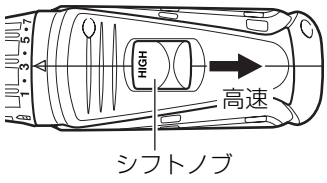
(3) 締付け力の調整の仕方

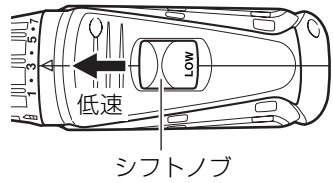
キャップを回し、キャップの数字「1 、 3 、 5 、…、 22 」または点印を外枠の三角マークに合わせます。

締付け力が弱いときは一段強い方に、強いときは一段弱い方にキャップを調整してください。

4．回転数の切替え

回転数の切替えはシフトノブを操作して行ないます。シフトノブを「LOW」側にすると低速になり、「HIGH」側にすると高速になります。





注 **• シフトノブにより回転数を切替える場合は、必ずスイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。**
モーターの運転中に回転数を切替えると、内部の歯車を傷めます。

• 大きな力が必要な作業（下表を目安にした作業）の場合は、シフトノブを「LOW」側にしてご使用ください。
「HIGH」側で使用すると、モーターが早期に焼損する原因になります。

	DV 12DV／DV 14DV
石材穴あけ	φ 10 ㎜を超える場合
金属穴あけ	φ 6.5 ㎜を超える場合
木材穴あけ	φ 18 ㎜を超える場合
木ねじ締め	D 4.8 × 40 ㎜を超える場合

5．コンクリートなどの穴あけにご使用の場合

注
- **工具本体は 10 ～ 20 ㎏程度の押し付け力（推力）でご使用ください。**
- **コンクリートの穴あけは先端工具が石や鉄筋に当たると穴があかない場合があります。**
- **コンクリートやモルタル・レンガ・ブロックなどに連続して穴をあける場合は、下表の個数以下としてください。**
  下表の個数を超えて穴あけを続けると、モーターやスイッチの焼損および蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。
- **ドリルまたは振動ドリル（回転＋打撃）としてご使用の場合は、モーターの回転が停止することがありますが、数秒間停止を続けないようにお使いください。**
  モーターやスイッチの焼損および蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。

		ドリル直径（穴あけ深さ 30 ㎜）				
		6㎜	8㎜	10㎜	12㎜	14㎜
連続穴あけ可能個数	DV 12DV	20個	15個	10個		
	DV 14DV	25個	20個	15個	10個	5個

○ コンクリートやモルタル・レンガ・ブロックなどの穴あけは、キャップの位置をハンマーマーク「 」（回転+打撃）でご使用ください。この場合、必ず右回転（スイッチ部の正逆転ボタンの (R) 側を押す）でご使用ください。左回転では穴はあきません。
○ 必要以上に力を加えても決して早く穴はあきません。かえって錐先を傷めて作業能率が低下するだけでなく、工具本体の寿命も短くなります。

6．金属の穴あけにご使用の場合

注
- **金属に穴をあける場合、穴のぬけぎわに大きな力がかかり、錐がキーレスチャックからすべることがあります。このようなときは、工具の押し付け力を弱め、錐がすべらないようにしてください。**

○ 鉄工錐を使って金属に穴をあける場合は、穴あけ位置に前もってセンタポンチを打っておきますと錐先がすべらず安定して穴をあけられます。
○ 金属に穴をあけるときは、ミシン油か石けん水を筆や歯ブラシの古いものなどで錐につけると、錐が長持ちします。
○ 必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先を傷めて作業能率が低下するだけでなく、工具本体の寿命も短くなります。

使用範囲と注意事項について

下表に各種作業での使用可能範囲を示します。
（使用可能範囲は、穴あけやねじ締め材料の種類、硬さ、錐の切れ味などにより異なりますので、一応の目安と考えてください。）

(1) DV 12DVの場合（12 V）

作　業	キャップ位置	使用可能範囲	注意事項
穴あけ		モルタル・レンガ：錐径 10 mm（穴あけ深さ 30 mm） コンクリート：錐径 6.5 mm（穴あけ深さ 30 mm）	モーターの回転を停止させないようご使用ください。
		鋼　材：錐径 10 mm（板厚 1.6 mm） アルミ：錐径 10 mm（板厚 1.6 mm） 木　材：錐径 18 mm（板厚 18 mm）	
ねじ締め	1～22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビット、ソケットをご使用ください。
ナット締め		ねじ径 6 mm	
木ねじ締め	1～	呼び径 5.1 mm×長さ 32 mm	下穴をあけてご使用ください。

(2) DV 14DVの場合（14.4 V）

作　業	キャップ位置	使用可能範囲	注意事項
穴あけ		モルタル・レンガ：錐径 14 mm（穴あけ深さ 30 mm） コンクリート：錐径 10 mm（穴あけ深さ 30 mm）	モーターの回転を停止させないようご使用ください。
		鋼　材：錐径 13 mm（板厚 1.6 mm） アルミ：錐径 13 mm（板厚 1.6 mm） 木　材：錐径 36 mm（板厚 18 mm）	
ねじ締め	1～22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビット、ソケットをご使用ください。
ナット締め		ねじ径 6 mm	
木ねじ締め	1～	呼び径 8 mm×長さ 50 mm	下穴をあけてご使用ください。

締付け力の選定

⚠ 注　意
• キャップをドリルマーク位置にしたままでボルト、ナットの締付けをしないでください。 締付け完了と同時に大きな負荷がかかって、振り回される恐れがあり、けがの原因になります。また、ボルトの破損や工具本体の故障の恐れがあります。

工具本体のキャップ位置における締付け力と作業の目安を示します。

キャップ位置	締付け力		作業の目安
	DV 12DV	DV 14DV	
1	約 1.0 N·m {10 kgf・cm}		• 小ねじの締付け • やわらかい木材へのねじ締付け
3	約 1.5 N·m {15 kgf・cm}		
7	約 2.3 N·m {23 kgf・cm}		
13	約 3.6 N·m {37 kgf・cm}		
17	約 4.6 N·m {47 kgf・cm}		• かたい木材へのねじ締付け
22	約 5.9 N·m {60 kgf・cm}		
	高速：6.9N·m {70 kgf・cm}	高速：8.8N·m {90 kgf・cm}	• 太い木ねじ締付け • ドリルとして使用時
	低速：24 N·m {245 kgf・cm}	低速：39 N·m {400 kgf・cm}	
	――――		ねじの締付けには使用できません。

保 守・点 検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また充電器は、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1．刃物・ドライバビットの点検

刃物の先端部が摩耗したり折損したものを、そのままご使用になりますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

また、先端部が摩耗したり折損したドライバビットを、そのままご使用になりますと、ねじ頭を傷めるので新品と交換してください。

2．各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3．モーター部の取扱いについて

モーター部（7ページの図参照）の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注 • ゴミやほこりを排出するため、定期的にモーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。
モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。

4．表面のよごれ清掃

工具本体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布か、または石けん水をつけた布などでふいてください。塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

5．作業後の保管

作業後は温度が 50 C° 未満でお子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために蓄電池（ニッケル水素電池のみ）は満充電にして保管することをおすすめします。

ご修理のときは

この工具本体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。また、蓄電池が使用不能の状態となり、廃棄処分される場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

蓄電池はリサイクルへ

この工具本体に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や機体の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

第一営業部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号（ST金沢ビル） ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● **電動工具ご相談窓口** ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00 ～ 午後5：00）

日立工機株式会社

部品コード　C99117901